

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

1-2

事業名	保育所施設整備の助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	4,205,000			決算額計(千円)	2,374,157		
事業の概要・目的	施設整備の促進により、保育所待機児童の早期解消を図るため、国の交付金や補助金を活用して、保育所、幼保連携型認定こども園及び保育所型認定こども園、幼稚園型認定こども園(保育所部分)整備の施設整備を助成するとともに、県単独施策の「保育所整備促進事業」で上乗せ補助を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を目指します	実績	①77.2% ②1,787人				

2 事業の実施結果

保育所等の施設整備では、民間保育所等(保育所、認定こども園)128施設、定員4,549人分の整備に対して助成した結果、県全体では地域型保育事業、公立設置等を含め6,590人の定員を増加させることが出来た。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	保育所、認定こども園等の施設整備に関する事業
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		保育所の施設整備に関する事業であり、市町村整備計画に基づき整備するため、該当せず。
3	性に起因する問題に配慮したか		施設整備に関する事業のため、該当せず。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		施設整備に関する事業のため、該当せず。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		施設整備に関する事業のため、該当せず。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		施設整備に関する事業のため、該当せず。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	128施設、定員4,549人分の整備に対し助成し、子育て世帯の待機児童解消に向け貢献した。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		施設整備に関する事業のため、該当せず。

(2)改善点等

<改善した点>

保育所等における待機児童の早期解消に向け、国の交付金により造成した基金(安心こども基金)や補助金を活用して、民間保育所128施設、定員4,549人分の整備に対し助成した結果、県全体では地域型保育事業、公立設置施設等を含め6,590人の定員を昨年度に比べ増加させることができた。

<課題・今後改善すべき点>

保育所等の定員数は毎年増加しているが入所待機児童も増加しており、これは、都市部において、住宅整備に伴う子育て世代の流入や、就労希望の保護者が増加したことにより、入所希望者が増加したためと考えられ、入所待機児童が生じている地域においては、入所希望者数の今後の動向を見極めながら整備を進める必要がある。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

3

事業名	放課後児童クラブへの助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	1,775,000			決算額計(千円)	1,611,328		
事業の概要・目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、市町村が実施または助成する放課後児童クラブの運営費について助成を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所等待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を指します	実績	①77.2% ②1,787人				

2 事業の実施結果

市町村が実施又は助成する放課後児童クラブの運営費について補助を行った(54市町村1,229か所)。
---

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
3	性に起因する問題に配慮したか		国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		事業実施に当たり性別の把握は不要のため該当せず。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		事業の目的・趣旨から該当せず。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		事業の目的・趣旨から該当せず。

(2)改善点等

<p>&lt;改善した点&gt; 前年度54市町村1,140か所から89か所増加した。</p> <p>&lt;課題・今後改善すべき点&gt; 希望したが入所できなかった児童が依然として存在していること、また指導員の資質の向上等、今後とも質・量ともに拡充していく必要がある。</p>
--

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

4

事業名	病児保育事業への助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	272,000			決算額計(千円)	213,045		
事業の概要・目的	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に実施する保育等を市町村が実施または助成する施設に対して運営費の助成を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所等待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を目指します	実績	①77.2% ②1,787人				

2 事業の実施結果

市町村が実施する病児保育事業の運営費について、補助を行った(34市町108か所)。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
3	性に起因する問題に配慮したか		国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		事業実施に当たり性別の把握は不要のため該当せず。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		事業の目的・趣旨から該当せず。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		事業の目的・趣旨から該当せず。

(2)改善点等

<改善した点>  
前年度31市町94か所から4市町14か所増加した。  
平成28年度から送迎を行う場合の加算を新設した。

<課題・今後改善すべき点>

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

5

事業名	幼稚園・小学校の教員、保育士等による研究協議等の実施
担当課	(教)指導課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	公私立幼稚園教諭、小学校の教員、保育士等を参加対象とする幼稚園教育課程研究協議会を年2回実施する。						
数値目標など							
指標名等	幼稚園教育課程研究協議会の実施回数						
目標	2回	実績	2回				

2 事業の実施結果

公立・私立の幼稚園、認定こども園、保育所関係者等が参加し、第1回は221名、第2回は149名、計370名が参加し、幼児教育に関わる職員の指導力向上を図った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	教員等の勤務時間に設定している。第1回は夏季休業中に開催した。	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○		
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため	

(2)改善点等

<改善した点>  
第2回の会場は、体を動かすことに配慮し、広くゆとりのある会場で実施した。

<課題・今後改善すべき点>  
適時性を重視した内容を扱うなど、引き続き、内容の充実を図る。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

6

事業名	幼稚園における預かり保育の推進
担当課	学事課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	280,000			決算額計(千円)	273,972		
事業の概要・目的	幼稚園の教育時間の前後や休業期間中(長期休業・土日祝日)に、園児を幼稚園内で過ごさせる「預かり保育」を実施する学校法人立等幼稚園に対し人件費を補助することにより、保護者の育児負担軽減及び仕事と生活の調和の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

通常預かり保育に対する人件費の補助・・・271園へ計234,647千円 長期休業日預かり保育に対する補助・・・229園に計37,643千円 休業日預かり保育に対する補助・・・13園に計1,682千円 合計272園へ273,972千円を交付した。
---

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか		
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか			
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか			
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか			
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2)改善点等

<p>&lt;課題・今後改善すべき点&gt; 預かり保育の需要は年々増加傾向にある。また、平成27年度より「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、より関係団体との連携を取り、さらなる補助の拡充や質の向上に努める。(平成29年度事業より補助対象者の拡大を行う。)</p>
---

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

7

事業名	放課後等デイサービス事業の充実
担当課	障害福祉事業課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	4
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供するサービスで、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業の一つ。対象者は学校教育法第1条に規定される学校に就学している障害児で、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められた者。						
数値目標など							
指標名等	放課後等デイサービス事業所設置箇所数(第五次千葉県障害者計画)						
目標	338	実績	488				

2 事業の実施結果

放課後等デイサービス事業者の量的拡大を図るとともに、支援内容の適正化と質の向上のため、厚生労働省令に従い、事業所の人員配置基準に係る条例改正を行った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点>

特になし

<課題・今後改善すべき点>

放課後等デイサービスにおける支援に当たっては、性別により区別することなく対応している。  
また、放課後等デイサービスについては、質の向上の取組として、児童発達支援管理責任者の要件及び人員配置基準の見直し、事業所による自己評価の公表等といった基準改正省令、改正告示が国から出ており、平成29年4月1日に施行されている。  
千葉県においても条例改正を行い、事業所に同内容を遵守するよう指導し、質の向上を図っている。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

8

事業名	障害児短期入所の充実
担当課	障害福祉事業課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	4
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	短期入所とは、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障害者支援施設等への短期間の入所を必要とする障害者等につき、当該施設に短期間の入所をさせ、入浴、排せつ又は食事の介護等を提供するサービスであるが、その中でも障害児の入所を充実させようとするもの。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

強度行動障害者(児)や重症心身障害者(児)を受け入れた短期入所事業所に対し報酬の加算を行った。
---

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点> 特になし。 <課題・今後改善すべき点> 短期入所における支援にあたっては、性別により区別することなく対応している。
--



重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

9

事業名	「ちばMy Style Diary」事業
担当課	政策企画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	5
当初予算額計(千円)	19,000			決算額計(千円)	18,757		
事業の概要・目的	結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援として、県や市町村からの支援情報の提供や、健康・育児に関する相談受付などを行うスマートフォン用アプリを配信する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

スマートフォン用アプリの配信に加え、使い勝手の向上や広報の充実を図るための改修を行った。また、チラシの印刷や子育て情報誌への掲載によりアプリの周知を図った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	性別を問わず利用できるコンテンツとなっている。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	24時間利用可能。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点>

・利用者のアンケート結果等を踏まえ、ログイン時のパスワード入力省略(選択制)やSNSとの連携を行えるよう改修を行い、使い勝手の向上や広報の充実を図った。

<課題・今後改善すべき点>

・市町村からの情報配信については、各市町村の担当課において情報を直接入力するシステムとなっており、市町村の状況により情報配信量に差が生じていることから、市町村に対して情報の充実を図るよう依頼を行う。  
 ・今後も、更に多くの方に有効に活用していただけるよう、本アプリの周知を図るとともに、利用者のアンケート結果等を踏まえ、より使いやすいアプリとするための改良に取り組む。  
 (平成29年度から健康福祉部子育て支援課に業務移管。)



重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

10

事業名	子どもの医療費助成の実施
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	6
当初予算額計(千円)	6,700,000			決算額計(千円)	6,093,292		
事業の概要・目的	子どもの保健施策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの疾病に係る医療費について、市町村が行う医療費助成に要する経費を助成する。 ・助成対象 入院 中学校3年生まで・通院 小学校3年生まで ・自己負担 入院1日、通院1回につき300円・所得制限 児童手当に準拠・支給方法 現物給付						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

給付実績 延べ件数 7,968,197件、延べ日数 10,502,743日
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点>  
特になし

<課題・今後改善すべき点>  
特になし

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

11

事業名	定期巡回、随時対応型訪問介護看護サービスの普及
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	40,670			決算額計(千円)	17,346		
事業の概要・目的	介護を必要とする高齢者の在宅生活を支えるため、日中と夜間を通じて介護と看護の両方のサービスを受けることができる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などの地域密着型サービスの普及を図る。 ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所に対して、一定の条件のもと、運営費を助成する。 ○市町村・地域包括支援センター職員、介護サービス事業者、介護支援専門員等を対象とし、普及啓発のためのシンポジウムを開催する。						
数値目標など							
指標名等	定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施市町村数						
目標	増加を目指します	実績	19市町村 (H28年度末)				

2 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス事業所の所在する市町村に対し、一定の条件のもと、運営費の補助を実施した。(6市)</li> <li>・普及啓発のためリーフレットを作成し、介護支援専門員や市町村に対し配付した。</li> </ul>
---

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>

特になし

<課題・今後改善すべき点>

特になし

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

12

事業名	特別養護老人ホーム等の施設整備
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	2,668,000			決算額計(千円)	1,792,800		
事業の概要・目的	<p>在宅での生活が困難な中重度の要介護高齢者の受け皿として特別養護老人ホーム等の施設整備を進める。</p> <p>○広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)の施設整備に必要な経費の助成を行う。                  ○介護者の急病等により、一時的に居宅での介護が困難となった際などに、短期間の入所を行うため、広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)に併設して老人短期入所居室を整備する場合に補助を行う。                  ○地域密着型介護サービス施設等の整備に要する費用について市町村への助成を行う。                  ○広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)等の開設前の準備経費に対して助成を行い、また、広域型特別養護老人ホーム等の整備用地確保のために定期借地権を設定し、一時金を支払った場合に助成を行う。                  ○小規模な特別養護老人ホーム(定員29名以下)等の開設前の準備経費に対して助成を行い、また、小規模な特別養護老人ホーム等の施設整備用地確保のために定期借地権を設定し、一時金を支払った場合に助成を行う。</p>						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

施設整備に必要な経費の助成を行い、広域型特別養護老人ホーム776床、地域密着型特別養護老人ホーム58床、合計834床を整備した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか		
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか		
	3	性に起因する問題に配慮したか		
	★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明	
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか			
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか			
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか			
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	特別養護老人ホーム等の施設整備を促進した。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか			

(2)改善点等

<p>&lt;改善した点&gt; 特になし。</p> <p>&lt;課題・今後改善すべき点&gt; 施設整備には地域の実情を把握している市町村との連携が不可欠のため、関係市町村と協力して施設整備の更なる促進に取り組んでいく。</p>
--

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード

13

事業名	福祉・介護人材の確保と定着促進
担当課	健康福祉指導課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	177,700			決算額計(千円)	61,362		
事業の概要・目的	2025年に約23千人の介護職員が不足と言われており、参入促進事業、潜在有資格者再就業促進事業、マッチング機能強化事業、キャリアアップ研修支援事業等の福祉・介護人材の確保・定着事業を実施する。						
数値目標など							
指標名等	定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施市町村数						
目標	増加を目指します	実績	16				

2 事業の実施結果

平成27年度より介護人材確保事業補助金の事業実施主体に市町村を追加したところであり、平成28年度は16市町において23事業を実施したところである。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	特に男女に限定していない。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	実績報告によれば、男性、女性双方が参画している
3	性に起因する問題に配慮したか		
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか		
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか		
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか		
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか		

(2)改善点等

<改善した点>

平成27年度の5市から平成28年度の16市町へと増加した。市町村への直接の働きかけ等が効果として現れたと思われる。

<課題・今後改善すべき点>

今後は地域包括ケアシステムの主体である市町村に事業の実施主体を移行していくため、市町村に対する働きかけが課題となっている。